

ラベンダー

花レシピ

管理と楽しみ方

15

<ラベンダーの特徴>

- 地中海沿岸の原産でシソ科の常緑小低木です。
- ラベンダーには数多く種類があります。一般的に耐寒性がありますが、暑さを苦手にするものが多いです。
- 香りには精神安定作用があると言われ、ポプリ、浴剤、化粧水等広い範囲でよく利用されています。

<楽しみ方のポイント>

- 植付け場所…
日当たりと風通しが良く、排水の良い場所に植付けましょう。
- 水やり…
土を乾燥気味に管理するのが大切です。乾いてからたっぷり水やりをします。過湿は根腐れの元になりますので注意しましょう。
- 肥料…
肥料はそれほど必要ではありません。しかし、真夏の暑い時期以外は1ヶ月に1回、薄い液肥を施用すると元気な株になります。

<得する豆知識>

- ラベンダーはハーブの女王として知られ、古代ギリシャ、ローマ時代からその芳香が愛されてきました。特に12世紀にはドイツでラベンダー水が開発され、ドイツ・フランスを中心に爆発的な流行を呼んだそうです。
- ラベンダーには多くの仲間がありますが、共通しているのは夏の暑さが苦手な点です。夏は出来るだけ涼しい場所に植える(置く)ことが大切です。
- 寒さには強いものと弱いものがあります。
 - ① 寒さに強いグループ…
イングリッシュラベンダー、フレンチラベンダーなど。
これらは、庭植えのまま、北風が直接当たるのを避ければ毎年春頃から花が楽しめます。
 - ② 寒さに弱いグループ…レースラベンダー、ストイカスラベンダー、アポニユラベンダーなど。
これらは直接霜が当たると枯れますので、寄せ植えの場合は、室内の明るい場所に取り込んだり、防寒(防霜)対策が必要です。

